

2023 年度
「見守る保育藤森メソッド」
園長養成プログラム

第 2 期受講生 募集要項

1. 目的

「見守る保育藤森メソッド」園長養成プログラムは、実務能力、教育指導力、マネジメント能力に関する具体的な取り組みへつなげるために継続的な学習機会を提供し、新たな社会（Society5.0）を見据えた保育の在り方、園運営の在り方を学ぶことを目的としています。

さらに、本プログラムの受講を通じて、園運営に直結するようなマネジメントやリーダーシップを実践的に学ぶことで、実際の園運営にどう生かしていったらよいのかという知識や技術の維持、更新が可能となります。

2. 対象

- 現在副園長の方や次期園長をめざされる方
- 見守る保育を園に浸透させたい方
- 藤森メソッドを体系的に学びたい方
- 中長期を見据え、園の存続に危機感のある方

3. 在籍期間

2023年5月8日（月）～2023年7月23日（月）

4. 対面受講会場

日本児童教育専門学校（〒169-0075 東京都新宿高田馬場 1-32-15）

5. 定員

20名

※定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。（最少催行人数5名）

6. 受講手続き、受講料納付手続き

（1）出願書類の提出（Web フォームに入力）

ホームページの申し込みフォーム（https://jje.ac.jp/mimamoru_LP/ の下部）に必要事項を入力してください。

（2）申し込み確認

事務局にて、申し込み順に1週間以内に受講受付可否の連絡をメールで通知します。受講可のメールを受診しましたら、最近3ヶ月以内に撮影した、正面向き上半身脱帽の顔写真を1点（10MB以内）を受領メール宛に添付にて返送ください。

お写真のご提出をもって、受講申込が完了となります。

（3）受講料納付

メール受領の後、指定期日前に受講料の納付をお願いいたします。

指定銀行	みずほ銀行	高田馬場支店
口座番号	普通	0711121
口座名義	日本児童教育専門学校	

受講料：200,000円（税込）

※指定期日までにご入金がなかった場合、キャンセルと判断させていただきます。

なお、本プログラムは、本学の「受講生」（正規学生ではありません）としての受講となりますのでご注意ください。

7. カリキュラム

2023年5月8日(月)から週1日2コマ×12週(全24講、1コマ90分、1日2コマ180分)
1コマ目/18時20分から19時50分、2コマ目/20時00分から21時30分

日付	時間	タイトル	内容
5/8	1 18:20-19:50	藤森メソッドの目指す未来	これからの社会に藤森メソッドが必要な理由
	2 20:00-21:30	藤森メソッドができるまで	藤森メソッドができる経緯～藤森先生の経験や知見がどのように藤森メソッドを構成していったのかなど
5/15	3 18:20-19:50	見守る保育の5つの特徴	藤森メソッドの特徴の理解、ファイブカリキュラム・OECD2030
	4 20:00-21:30	子どもの権利(権利条約と保育中の子どもの権利)・見学に向けての視点の提供	子どもの権利という視点の重要さと現状の日本での認識と具体的に保育の場面で考え方など
5/22	5 18:20-19:50	見守る保育導入園(GT園)の導入までの実践紹介	見守る保育導入に向けた課題と導入までの実践を理解する
	6 20:00-21:30	見守る保育 海外での展開	シンガポール、中国、韓国での展開。なぜ海外の方はメソッドに興味を持ったのか
注 5/29	7 10:00-11:00	現場見学①新宿せいがの取り組みについて	導入講義：見守る保育実践事例から学ぶ
	8 11:00-12:00	現場見学②実際の見守る保育	見学
6/5	9 18:20-19:50	グループディスカッション+見学後の感想共有	新宿せいがの保育を見た視点提供/学んだことを自身の言葉で発信する
	10 20:00-21:30	新宿せいがの取り組みについて改めて整理する	新宿せいがの保育を改めて見守る保育というポイントから学ぶ
6/12	11 18:20-19:50	乳幼児研究の最新研究	脳科学の観点から
	12 20:00-21:30	くうかん～zoneとはなにか	zoningの意味をさらに深く学ぶ・子どもたちにどんなことが起きるのか・空間の構成や建築、玩具など
6/19	13 18:20-19:50	安全	危機管理
	14 20:00-21:30	食育	食の安全と危険性
6/26	15 18:20-19:50	人材育成	子どもにとっての人・同僚としての人という環境について
	16 20:00-21:30	リーダーシップ論	「チーム保育」を行うためには
7/3	17 18:20-19:50	ICT(遊びとICT・学びとICT・子どものICTリテラシー)	ICT活用先端事例紹介
	18 20:00-21:30	ICT(業務管理としての活用)	業務管理や安全管理のICT
7/10	19 18:20-19:50	保護者対応	保護者との向き合い方
	20 20:00-21:30	小学校との接続	実際に小学校とどのような接続をしているのか(GT園で実際に実施していること)
7/17	21 18:20-19:50	保育の評価・監査	経営の強化は保育の質から～質をあげるための評価、監査事例
	22 20:00-21:30	グループディスカッション	今まで学んだことを自身の言葉で発信する
7/24	23 18:20-19:50	見守る保育についての総整理1	22講のまとめ含めた総整理
	24 20:00-21:30	見守る保育についての総整理2・受講証明証授与	総整理、質疑応答

※科目名及び講師が変更になる場合があります。変更されても大幅な内容変更はありません。

※各科目は、興味・関心事項や疑問点、理解度などを記入いただくコメントペーパーの提出をもって、受講完了となります。

※3回の欠席以内の方に修了書を授与します。なお、欠席の場合、資料はオンラインで閲覧することが可能です。

※対面を基本としておりますが、実施予定の科目がオンラインに替わる可能性があります。

8. その他

- (1) 本プログラムの修了者には修了証を授与します。
- (2) 本プログラムにおいては、動画視聴や課題の提出において、パソコンを使用しますので、必ず、パソコン及び必要な通信環境をご自身にてご用意ください。(タブレットやスマホでも利用は可能です)
- (3) 講義は日本児童教育専門学校にて行いますが、現場見学においては近隣を含めた都内の場所となります。
- (4) 受講生は正規学生とは異なるため、通学定期の購入や学割の適用はありません。
- (5) 本プログラムを終了することで、園長に就任することを保証するものではありません。しかしながら、本プログラムの共同開発先である HOIKU 株式会社に新園の園長募集状況や条件、転職相談は可能であり、費用もかかりませんので、ご希望の方は下記 URL よりお問い合わせください。
- (6) 本学では新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策をとっておりますが、受講生及び教職員の安全を確保するためには受講生の協力も欠かせません。そのため、受講者のみなさまには本学の新型コロナウイルス対策ルールへの協力をお願いいたします。
- (7) 本プログラムは、保育士等キャリアアップ研修とは異なりますのでご注意ください。
- (8) プログラム内容を鑑み、最少催行人数を5名と設定させていただきます。最少催行人数に満たない場合は、開催を中止し、返金を行わせていただきます。
- (9) 次回以降の広報活動や実施記録のため、撮影を行わせていただきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

個人情報の取扱いについて

本学が出願を通じて取得する個人情報は、①受講生管理、②受講手続き、③本学からのお知らせ、④これらに付随する業務、を行うために事務局並びに教員が利用いたします。

「見守る保育藤森メソッド[®]」は以下の連携により作成したオリジナルプログラムです。

- 保育環境研究所ギビングツリー
<http://www.givingtree.jp/>
- HOIKU 株式会社
<https://hoiku-inc.com/>
- 日本児童教育専門学校
<https://jje.ac.jp/>

【運営先】
学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-32-15
TEL 03-3207-5311 FAX 03-3205-1785
URL <https://jje.ac.jp/>
Email jimukyoku@jje.ac.jp